

2003年4月30日発行

熊本県地域福祉メールマガジン
月刊「みんなでたのしく輪になって」No. 5

【発行】 熊本県健康福祉部福祉のまちづくり課地域福祉企画班

新年度に入って初のメルマガです。
今年度、県では、成果重視の行政を進めていくため一部組織のフラット化が導入され、特に県民の皆さんとかかわる面が多い健康福祉部はすべての課がフラット化となりました。メルマガは福祉のまちづくり課が担当することになりました。今後ともよろしくお願ひします。

また、市町村合併に伴い、上村、免田町、岡原村、須恵村、深田村の各社協も合併してあさぎり町社協になりました。

目次

市町村情報
山鹿市 小規模多機能ホーム「いつでんどこでん」
振興局情報
阿蘇地域振興局
ささえ愛のネットで地域福祉を推進
阿蘇郡内の全町村で地域福祉計画を策定
トピックス
山鹿市地域福祉計画策定フォーラム
お知らせ
熊本発 これからの福祉を考える全国セミナー part

市町村情報
山鹿市 小規模多機能ホーム「いつでんどこでん」

「通って、泊まれて、家にも来てくれて、いざとなったら住むことができる」多機能ホームが3月21日山鹿市古閑にオープンしました。

施設の概要

「いつでんどこでん」は、山鹿市の中心部から車で5分ほどの住宅街にあります。

約960坪の敷地に、高齢者、障害者の住まいや食堂、交流スペース機能を持つ建物とデイサービスや痴呆性高齢者のグループホーム機能を持つ建物の2棟が建っています。

設置主体であるNPO法人コレクティブにとっては、4番目の施設です。

施設の主な機能

高齢者、障害者、子どもなどの区別なく、困っている人たちの支援を行っています。

- ・地域サポートセンター
地域の介護相談に対応しています。
- ・住まい
- ・デイサービス

- ・ホームヘルプ
- ・ナイトケア
- ・食事サービス

施設の特徴

- ・「ホームヘルプ」「通所」「宿泊」「住まい」を一体的に提供するため、デイサービス ショートステイ 長期入所 へと移行する過程で、環境の変化や人間関係の変化がほとんどありません。
- ・ケアマネジメントは、「在宅継続支援」の視点で行われています。
- ・高齢者、障害者、子どもが共生できる場づくりを目指しています。
- ・施設の名前のとおり、いつでも緊急の宿泊等に対応できるよう努めることで、在宅での生活に家族や地域の方が安心感を高めることができるようなコミュニティワークに取り組んでいます。

連絡先

〒861-0533 山鹿市古閑字辻1312-3
TEL 0968-44-8306
「いつでもどこでん」

振興局情報

阿蘇地域振興局 ささえ愛のネットで地域福祉を推進
阿蘇郡内の全町村で地域福祉計画を策定

阿蘇郡内の12町村では、阿蘇地域振興局とのパートナーシップのもと、平成13年度から地域福祉計画の早期策定に向けた準備が始まりました。

14年度には4町村の代表による計画策定のプロジェクトチーム及び全12町村の代表による計画策定支援会議をそれぞれ月1回のペースで開催し、統一したアンケート調査の実施や、地域の特性に応じた今後の地域福祉のあり方について議論を重ね、14年度末までにそろって計画の策定を終えました。

各町村の計画では、阿蘇地域でこれまで育まれてきた「阿蘇やまびこネットワーク*」による小地域での見守り活動など、住民同士の地域に根ざしたささえあい活動を基本に、少子・高齢化、過疎化への対応など、今後の方策に知恵がしぼられました。そして、社会福祉法に基づく地域福祉計画として盛り込むべき事項、策定の手続き等について各町村が情報を共有し合う中で、一足早い計画策定となりました。県内で、これまでに地域福祉計画の策定を済ませた市町村は3割に達しており、全国的にみても高い達成率となっています。

今後、向こう5年間にわたる地域福祉計画の着実な推進が期待されます。

< *阿蘇やまびこネットワーク >

阿蘇郡の全町村で、平成9年から続けられている活動で、管内の町村社協を中心に関係機関が連携しながら、声かけや見守り等の小地域でのネットワークなど、地域住民の参加、つながりによる地域福祉を推進しています。

トピックス

山鹿市地域福祉計画策定フォーラム

平成15年3月16日に当フォーラムが山鹿市で開催され、あいにくの雨にもかかわらず約250名の参加がありました。

山鹿市はこれまで、八つの住民参加のワークショップを立ち上げ、各班とも5～8回程度の議論を重ねてきましたが、今回、山鹿市民に対し、晴れの成果発表となりました。

会場には各班の成果が展示され、それぞれの分野で市民にできること、行政にしてほしいこ

と、山鹿市はどうなってほしいか、大きな字でまとめてありました。「わたしは話すのが好きで一人暮らしの高齢者の話し相手になりたい」、「私は主婦であるが、時間的に余裕ができたので短時間であれば子どもを預かってもいい。但し、預かるたびに部屋を片づける必要があるので場所は市役所で確保してほしい」・・・・・・・・

発表については、寸劇や替え歌、踊りなど趣向を凝らしたものが多く、緊張しているというよりも、「ワークショップは楽しいよ、みんなも聞けばかりでなく、一緒に参加しましょう、みんな山鹿の福祉を良くしましょう」と訴えているようでした。

開会の1時間前に楽屋の様子をみにいったところ、みんな緊張してまるで子どものように何回も練習を重ねられていました。ところが、いざ本番になると、さすが思いが強いのか言いたいことは大きな声でしっかり話されていました。中には話し足らなかったのか、喫煙所で議論されていた方や、山鹿のネオン街に出かけられた方もおられました。

当フォーラムは、山鹿市民みんなで地域福祉を考えていこうという趣旨で行われ、ある程度の成果も得られたのではないかと感じましたが、むしろ、大変熱くなった約100名の発表者の存在が気にかかりました。

100名の参加者の方には、もっともっと熱くなって、地域福祉の活動リーダーとなって山鹿市を良くしてほしい。

山鹿市の地域福祉計画は住民参加型でおおいに期待できるが、本当の成果は熱い熱い住民をつくったことではないでしょうか。

お知らせ

熊本発 これからの福祉を考える全国セミナー part

日時；平成15年5月31日(土)12:30~17:30

6月1日(日)9:15~15:15

会場；熊本テルサ(熊本市水前寺公園28-51)

主催；「熊本発これからの福祉を考える全国セミナーpart」実行委員会

内容；(セッション)障害を持っている方やその家族が本当に望んでいる暮らしとは？

(セッション)富山県の「このゆびと~まれ」方式(メルマガ前号参照)によって、熊本で芽生えた、子供、障害者、高齢者という要支援の枠を越えようとする取り組みを紹介します。

(セッション)愛知県高浜市の「地域福祉・住民が喜ぶ福祉」や、熊本県の地域福祉について。

(セッション)先駆者が、自らの実践を通じて語るこれからの福祉について。

(セッション)教育・雇用・福祉の枠を越えた取り組みについて。

(ファイナルセッション)滋賀県における在宅福祉・地域福祉と、きめ細かな福祉を目指す熊本県のこれからについて。

参加費；5,000円

参加定員；700名

問い合わせ先；セミナー実行委員会事務局

(社会福祉法人 青いりんごの会 銀河ステーション内)

電話 0968-86-5557

追伸；当セミナーは全国各地の地域福祉の先駆的な取り組みがいくつも発表されます。また潮谷知事も地域福祉を熱く語られる予定です。今後の地域福祉の進め方に大いに参考になると思われます。

熊本県地域福祉メールマガジン

月刊「みんなでたのしく輪になって」No.5

【発行】 熊本県健康福祉部福祉のまちづくり課地域福祉企画班

記載内容に関するお問い合わせ、情報提供、御意見、配信の
解除、メールアドレスの変更など一切の連絡は、
熊本県健康福祉部福祉のまちづくり課地域福祉企画班 へ
お願いします。(メールアドレス、 、FAXとも変更になりましたのでご注意！)
E-mail:fukusimati@pref.kumamoto.lg.jp
TEL:096-383-1185
FAX:096-387-5992